

研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD)  
データ交換 データ仕様書(XML/CSV・TSV)

第 1.7 版

平成 20 年 5 月 23 日

## 変更履歴

No.	版号	日付	区分	変更内容	変更箇所
1	1.0	2006/11/30	新規	第1版作成	
2	1.0	2006/12/19	修正	「6.1 ファイル名について」において TSV ファイルの拡張子を.tsv から.txt に修正した。	p2
3	1.1	2007/1/17	変更	以下の項目の繰返し数を 999 件から 9999 件に変更した。 ・研究業績(論文・解説など) ・著書 ・研究業績(口頭発表・ポスターなど) ・研究業績(特許) ・研究業績(その他)	別紙 2:ファイル項目一覧->研究者研究活動情報ファイル 別紙 3:チェックパターン一覧->研究者研究活動情報ファイル
			修正	研究業績(論文・解説など)の「DOI」のデータ型を「全半角」から「半角英数記号」に修正	別紙 2:ファイル項目一覧->研究者研究活動情報ファイル(CSV)
4	1.2	2007/2/5	修正	各研究活動情報ファイル項目について、以下の通り修正した	別紙 2:ファイル項目一覧->機関研究活動情報ファイル・研究者研究活動情報ファイル・課題研究活動情報ファイル 別紙 3:チェックパターン一覧->機関研究活動情報ファイル・研究者研究活動情報ファイル・課題研究活動情報ファイル
				研究機関情報 沿革に備考を追記。 予算に備考を追記。	
				研究者情報 氏名 氏名(漢字)の英語のデータ型を「全半角」に変更。 氏名(ローマ字)の備考を修正。 所属機関コードに備考を追記。 主所属機関フラグに備考を追記。 研究分野コードの必須欄を「 」に変更。備考に追記。 研究テーマ 研究テーマ名の必須欄を「 」に変更。備考に追記。 概要、研究態様の必須欄を「 - 」に変更。 研究分野コードのデータ型を「半角数字」に変更。 取得学位 取得学位(分野コード)のデータ型を「半角数字」に変更。 受賞学術賞 受賞年の byte 数を「4」に変更 特許 特許名の必須欄を「 」に変更。	

				<p>海外の会議・学会の出席・発表回数 備考を修正(「初期値 0」を削除)。 使用外国語(発表・執筆) 備考を修正(番号と言語の対応付け修正) 以下の項目の公開・非公開フラグの必須欄を「」に変更 ・所属部署名 ・職名 ・研究テーマ</p>	
				<p>研究課題情報 研究機関 備考に追記。 研究者 リンクフラグのデータ型を「半角数字」に修正。 研究者名の英語データのデータ型を「全半角」に修正。 研究分野コード 必須欄を「」に修正。備考に追記。 データ型を「半角数字」に修正(CSV) 予算 研究予算の必須欄を「」に修正。 研究課題コード、機関コード 以下のファイルの必須欄を「」に修正。 ・課題研究機関研究活動情報ファイル(CSV,TSV)</p>	
5	1.2	2007/2/16	修正	<p>データ仕様書 6.2 ファイル仕様 8)データ型について、全半角型で使用可能な文字範囲を修正した。</p>	<p>データ仕様書 6.2 ファイル仕様 8)データ型</p>
				<p>各研究活動情報ファイル項目について、以下の通り修正した 研究者情報 受賞学術賞 受賞年のデータ型を半角数字とした。</p>	<p>別紙 2:ファイル項目一覧-&gt; 研究者研究活動情報ファイル(XML) 別紙 3:チェックパターン一覧-&gt;研究者研究活動情報ファイル(XML)</p>
6	1.3	2007/3/19	修正	<p>別紙2:ファイル項目一覧について、以下の項目について公開・非公開フラグの必須欄を「」に修正した。 研究者研究活動情報ファイル ・住所非公開フラグ ・TEL 番号非公開フラグ ・FAX 番号非公開フラグ ・メールアドレス非公開フラグ</p>	<p>別紙 2:ファイル項目一覧-&gt; 研究者研究活動情報ファイル(CSV) 別紙 3:チェックパターン一覧-&gt;研究者研究活動情報ファイル(CSV) 別紙 2:ファイル項目一覧-&gt; 課題研究活動情報ファイル</p>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究職歴非公開フラグ</li> <li>・委員歴・役員歴非公開フラグ</li> <li>・最終出身大学院非公開フラグ</li> <li>・最終出身学校非公開フラグ</li> <li>課題研究活動情報ファイル</li> <li>・研究予算非公開フラグ</li> </ul>	(CSV) 別紙 3:チェックパターン一 覧->課題研究活動情報ファ イル(CSV)
7	1.3	2007/3/19	追加	ReaD 使用する各種コード表を追加した。 また、各研究活動情報ファイルについて、備考欄 にコード値あるいは参照元コード表を記載した。	別紙 2:ファイル項目一覧表 (XML、xSV)
8	1.4	2007/7/12	修正	定員（総数） 定員（研究者） 定員（教員数） 定員（職員数） 定員（大学院生数）の条件付必 須チェックを削除	別紙 2:ファイル項目一覧、 別紙 3:チェックパターン一 覧
9	1.4	2007/7/12	修正	定員（研究者） 定員（教員数） 定員（職員数） 定員（大学院生数）の項目間の値内容チェッ クを削除	別紙 2:ファイル項目一覧、 別紙 3:チェックパターン一 覧
10	1.4	2007/7/12	修正	関連情報の改行有を空白 「 」に変更	別紙 2:ファイル項目一覧、 別紙 3:チェックパターン一 覧
11	1.4	2007/7/13	修正	組織種別、学部等の種別、学科等の種別のコー ド固定値チェックを削除	別紙 2:ファイル項目一覧、 別紙 3:チェックパターン一 覧
12	1.4	2007/7/13	修正	沿革年月日の日付チェックを 1800～に変更	別紙 2:ファイル項目一覧、 別紙 3:チェックパターン一 覧
13	1.4	2007/7/13	修正	最終出身学校コード、最終出身大学院コードの データ型を半角英数に変更	別紙 2:ファイル項目一覧、 別紙 3:チェックパターン一 覧
14	1.4	2007/7/17	修正	所属部署名の条件付必須を削除	別紙 2:ファイル項目一覧、 別紙 3:チェックパターン一 覧
15	1.4	2007/7/17	修正	研究者コードの条件付必須から所属部署名を削 除	別紙 2:ファイル項目一覧、 別紙 3:チェックパターン一 覧

16	1.5	2007/7/20	修正	「別紙 2:ファイル項目一覧表」と「別紙 3:チェックパターン一覧」を 「別紙 2:チェックパターンファイル設計書」 に統合	
17	1.5	2007/7/20	修正	Researcher の項目について、繰返し数チェック を「 」 「 」に修正	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->課題研究活 動情報ファイル(XML_00)
18	1.5	2007/7/26	追加	リンクフラグの備考に「値が無い場合、リンク なし"0"を設定する」を追加	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->課題研究活 動情報ファイル(XML_00)、 課題研究者研究活動情報 ファイル(xSV_02)
19	1.5	2007/7/26	追加	表示順ソートコードの備考に「値が無い場合、 "99"を設定する」を追加	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->課題研究活 動情報ファイル(XML_00)、 課題研究者研究活動情報 ファイル(xSV_02)
20	1.5	2007/7/26	修正	PositionPostPub / JobPub が複数ある場合の振 る舞いを * 7 として記述	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->コメント (XML)、研究者研究活動情 報ファイル(XML_00)
21	1.5	2007/7/26	修正	1 . 研究活動情報ファイル(XML) ( 1 ) の文言を 「空要素タグ等の設定は不要。」 「空要素タグ 等の設定してもしなくても良い。」に修正	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->概要
22	1.5	2007/7/26	修正	2 . 研究活動情報ファイル(CSV, TSV) ( 6 ) の文 言を「ファイルファイル」 「ファイル」に修 正	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->概要
23	1.5	2007/7/26	追加	氏名 ( 漢字 ) の備考に「英語の場合は、ローマ 字を入力」を追加	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->研究者研究 活 動 情 報 フ ァ イ ル (XML_00)、研究者研究活 動情報ファイル(xSV_00)
24	1.5	2007/7/26	追加	氏名 ( カナ ) の備考に「英語の場合は、受入対 象外項目」を追加	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->研究者研究 活 動 情 報 フ ァ イ ル (XML_00)、研究者研究活 動情報ファイル(xSV_00)
25	1.5	2007/7/26	修正	PositionPostPub の必須項目・必須チェックを 「 」 「 - 」に修正	別紙 2:チェックパターンフ ァイル設計書->研究者研究 活 動 情 報 フ ァ イ ル (XML_00)
26	1.5	2007/7/26	修正	所属部署名非公開フラグの必須チェックを「 」	別紙 2:チェックパターンフ

				「-」に修正	ファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
27	1.5	2007/7/26	修正	職名(コード)の必須項目・必須チェックを「-」「」に修正	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者所属機関別職名研究活動情報ファイル(xSV_15)
28	1.5	2007/7/26	追加	取得学位(分野名)の備考に「/=9999」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者取得学位研究活動情報ファイル(xSV_07)
29	1.5	2007/7/26	修正	以下の項目について、必須項目を「-」「」に修正 FinalCollegePub ResultArticlePub ResultBookPub OralAndPosterPub ResultPatentPub OtherWorkPub	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)
30	1.5	2007/7/27	修正	所属部署名非公開フラグの必須項目を「-」「」に修正	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
31	1.5	2007/7/27	修正	1.研究活動情報ファイル(XML)(1)の文言を「空要素タグ等の設定してもしなくても良い。」 「空要素タグの設定をしてももしなくても良い。」に修正	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->概要
32	1.5	2007/7/27	修正	Researcher の概要に「原則として公開データのみを受入」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)
33	1.5	2007/7/27	修正	氏名(ローマ字)の概要を「英語の場合:必須でない」「英語の場合は、任意」に修正	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
34	1.5	2007/7/27	修正	以下の概要に「 タグが作成されない場合または空タグの場合 既登録あり 既存情報をそのまま保持 既登録なし デフォルト「公開」で登録 」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)

				AddrPub TelNoPub FaxNoPub EMailAddr	
35	1.5	2007/7/27	修正	最終出身学校修了区分の名称を「最終出身学校卒業区分」に変更	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者最終出身学校研究活動情報ファイル(xSV_06)
36	1.5	2007/7/27	削除	取得学位(取得方法)の備考を削除	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者取得学位研究活動情報ファイル(xSV_07)
37	1.5	2007/7/27	修正	項目間チェックパターン一覧の EV0302 の説明を「繰返し数チェック 繰返し数項目の値内で許容 :繰返し数=0以上 :繰返し数=1以上 」に変更	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->機関研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、課題研究活動情報ファイル(XML_00)、資源研究活動情報ファイル(XML_00)
38	1.5	2007/8/6	削除	主所属機関フラグの条件付必須チェック対象項目から、PositionPost、JobTitle を削除	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者別機関研究活動情報ファイル(xSV_01)
39	1.5	2007/8/6	修正	研究テーマ概要、研究テーマ研究態様の必須チェック「-」を削除	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究テーマ研究活動情報ファイル(xSV_04)
40	1.5	2007/8/6	修正	職名コードの備考を「主所属機関フラグが1の場合、管理用の職名(コード)として設定される」に変更	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者所属機関別職名研究活動情報ファイル(xSV_15)
41	1.5	2007/8/6	修正	職名の備考を「主所属機関フラグが1の場合、管理用の職名(名称)として設定される」に変更	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者所属機関別職名研究活動情報ファイル(xSV_15)
42	1.5	2007/8/6	修正	職名の必須チェック「 」を削除	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者所属機関別職名研究活動情報フ

					ファイル(xSV_15)
43	1.5	2007/8/6	追加	非公開フラグの備考に「原則として公開データのみを受入」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
44	1.5	2007/8/9	追加	「6.4 日英連動項目」に関する記述を追加	データ仕様書
45	1.6	2007/9/10	追加	研究者コードの備考に「(研究者コード、リンクフラグ、研究者名、機関名、所属部署名、表示順ソートコードの入力が無い場合、必須チェックを行わない)」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->課題研究活動情報ファイル(XML_00)
46	1.6	2007/9/19	追加	主所属機関フラグの備考に「(主所属がない場合(EV0025)、又は複数あった場合(EV0024)、エラーとする)」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_01)
47	1.6	2007/9/25	追加	「6.5 各項目における公開・非公開フラグ」に関する記述を追加	データ仕様書
48	1.6	2007/9/25	追加	氏名特記事項の備考に「フラグにかかわらず非公開」および、性別、海外研究活動のための渡航回数、海外の会議学会出席回数、使用外国語種別の非公開フラグの備考に「フラグにかかわらず非公開(統計用)」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
49	1.6	2007/9/25	追加	所属部署、職名、研究分野、研究分野キーワード、研究テーマ、ホームページURL、研究業績(論文・解説)、研究業績(著書)、研究業績(口頭・ポスター)、研究業績(特許)、研究業績(その他の活動)、取得学位、委員歴・役員歴、受賞学術賞、所属学会の非公開フラグの備考に「原則として公開を設定」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
50	1.6	2007/9/25	追加	住所、TEL 番号、FAX 番号、メールアドレス(公開用)、生年月日、最終出身大学院、最終出身学校、研究職歴の非公開フラグの備考に「非公開フラグの設定値が空の場合、既登録の値が保持される。非公開フラグの初期値は「公開」で登録されている。」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
51	1.6	2007/9/25	追加	メールアドレス(JST 連絡用)、メールアドレス(予備)、文部科学省科学研究費研究者番号の備考に「非公開」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
52	1.6	2007/9/25	追加	所属学会の備考に「平成 20 年 4 月以降、繰り返しを「99」から「999」に改修予定。」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活

					動情報ファイル(xSV_00)
53	1.6	2007/9/25	追加	一般公開の可否、プロジェクト名、プロジェクト代表機関名、研究代表者名、概要、キーワード、研究期間(研究開始年度、研究終了年度)、研究成果の非公開フラグの備考に「原則として公開を設定」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->課題研究活動情報ファイル(XML_00)、課題研究活動情報ファイル(xSV_00)
54	1.6	2007/9/25	追加	研究テーマ研究分野コードの備考に「研究テーマの研究分野コードは、受入する要素名が異なるため、研究分野コード1 2 3の要素に指定した通りに受入れされる。」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->課題研究活動情報ファイル(XML_00)、課題研究活動情報ファイル(xSV_04)
55	1.6	2007/10/31	追加	研究テーマの研究分野コードに関し、バイト数チェック1(固定バイト数)からバイト数チェック2(MAXバイト数)に修正	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_04)
56	1.6	2007/11/13	追加	研究者業績(著書)ISBNの備考に「"ISBN"を除いた数字とハイフンの文字列を原則とする(例:「ISBN978-4-949999-08-3」の場合、「ISBN」を除いた「978-4-949999-08-3」)」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_11)
57	1.6	2007/12/21	追加	主所属機関コードの備考に「(主所属機関フラグが1の場合、所属機関コードの前方4桁が、ファイル名の9~12桁目と同じ値であること(EV0027)) (主所属機関フラグが1の場合、所属機関コードの前方4桁が、ReaDに登録されている主所属機関コードと一致すること(EV0029)) (主所属機関が日英で同じであること(EV0028))」を追加	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_01)
58	1.6	2007/12/21	修正	所属学会(担当年度)の備考に「平成20年1月改修予定(現状は"半角英数記号")」を追記した上で、データ型を「全半角」に変更	研究者研究活動情報ファイル(XML_00) 研究者研究活動情報ファイル(xSV_09)
59	1.6	2007/12/21	追加	「6.2 ファイル仕様 4)CSV、TSV ファイルについて」に、「空データの場合もデータ部は「」(ダブルコーテーション)」で囲むことおよび「文字参照は使用しないこと(使用した場合は、現状ではそのまま「&#x201C;」「&#x201D;」「&#x201E;」「&#x201F;」のように表示される(平成20年4月以降は適正な表示となるよう改修予定))」を追加	データ仕様書
60	1.6	2007/12/21	修正	研究制度コード0002、0005、0044、0111、0135、	別紙 3:コード表->10. 研究

				0144、0146、0147の研究制度名を修正	制度コード
61	1.7	2008/3/28	追加	「6.2 ファイル仕様 4)XML ファイルについて」に、「上記4パターン以外の文字参照は使用しないこと。使用した場合はエラーとなる。」および「制御コードを含めないこと。」を追加	データ仕様書
62	1.7	2008/3/28	追加	「6.2 ファイル仕様 4)CSV、TSV ファイルについて」を、「文字参照は、「&#x26amp;#x27;、「&#x26quot;#x27;、「&#x26lt;#x27;、「&#x26gt;#x27;のみ使用可能。」と修正、および「制御コードを含めないこと。」を追加。	データ仕様書
63	1.7	2008/3/28	追加	沿革内容の備考に「改行コードの設定は可能ですが、検索画面に反映されません。」の記述を追加。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->機関研究活動情報ファイル(XML_00)、機関研究活動情報ファイル(xSV_01)
64	1.7	2008/3/28	追加	連絡先・TEL 番号、連絡先・FAX 番号、研究テーマ名、研究テーマキーワード、研究テーマ概要、取得学位名、所得学位(分野名)、受賞学術賞名、所属学会名、所属学会(役職名) 論文名、雑誌名、著者名、書名、出版社名、会議名、特許名の備考に「改行コードの設定は可能ですが、検索画面に反映されません。」の記述を追加。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)、研究者研究テーマ研究活動情報ファイル(xSV_04)、研究者取得学位研究活動情報ファイル(xSV_07)、研究者受賞学術賞名研究活動情報ファイル(xSV_08)、研究者所属学会研究活動情報ファイル(xSV_09)、研究者業績(論文、解説)研究活動情報ファイル(xSV_10)、研究者業績(著書)研究活動情報ファイル(xSV_11)、研究者業績(口頭発表・ポスター)研究活動情報(xSV_12)、研究者業績(特許)研究活動情報ファイル(xSV_13)
65	1.7	2008/3/28	追加	概要、キーワードの備考に「改行コードの設定は可能ですが、検索画面に反映されません。」の記述を追加。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->課題研究活動情報ファイル(XML_00)、課題研究活動情報ファイル(xSV_00)
66	1.7	2008/3/28	追加	研究領域名、利用環境・条件、連絡先・住所、連絡先・電話番号、連絡先・電子メールアドレス	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->資源研究活

				スの備考に「改行コードの設定は可能ですが、検索画面に反映されません。」の記述を追加。	動情報ファイル(XML_00)、資源研究活動情報ファイル(xSV_00)
67	1.7	2008/3/28	追加	代表者名、定員（研究者） 定員（教員数） 定員（職員数） 定員（大学院生数） 記入者氏名等の備考に「非公開」の記述を追加。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->機関研究活動情報ファイル(XML_00)、機関研究活動情報ファイル(xSV_00)
68	1.7	2008/3/28	追加	記入者氏名等の備考に「非公開」の記述を追加。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->課題研究活動情報ファイル(XML_00)、課題研究活動情報ファイル(xSV_00)
69	1.7	2008/3/28	追加	関連情報、記入者氏名等の備考に「非公開」の記述を追加。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->資源研究活動情報ファイル(XML_00)、資源研究活動情報ファイル(xSV_00)
70	1.7	2008/3/28	追加	氏名（ローマ字）の備考に、「日本語データの場合は必須 下記条件を満たす場合、氏名（漢字）と同じ内容が自動的に登録される。 ・氏名（ローマ字）が存在しない ・氏名（漢字）が半角英数記号」の記述を追加。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)
71	1.7	2008/3/28	削除	所属学会（担当年度）の備考から「平成 20 年 1 月改修予定（現状は"半角英数記号"）」を削除。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_09)
72	1.7	2008/3/28	変更	「2．研究活動情報ファイル(CSV,TSV)」の、「(10)文字参照は使用しないこと(使用した場合は、現状ではそのまま「& ; 「&quot; ; 「&lt; ; 「&gt; ;」のように表示される（平成 20 年 4 月以降は適正な表示となるよう改修予定))」を「(10)文字参照は、「& ; 「&quot; ; 「&lt; ; 「&gt; ;」のみ使用可能」に変更。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->概要
73	1.7	2008/3/28	追加	「0．共通」に、「(6)制御コードを含めないこと。」を追加。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->概要
74	1.7	2008/3/28	修正	「10．研究制度コード」 「11．研究分野コード（大）」 「12．研究分野コード（中）」 「13．研究分野コード」 「14．職名コード」 「16．学部（学系）コード」 「19．学校卒業区分コード」	別紙 3:コード表

				を修正	
75	1.7	2008/4/25	削除	所属学会の繰り返し数を「999」に変更。また備考から「平成20年4月以降、繰り返しを「99」から「999」に改修予定。」を削除。	別紙 2:チェックパターンファイル設計書->研究者研究活動情報ファイル(XML_00)、研究者研究活動情報ファイル(xSV_00)

## 目次

1. 目的	p1
2. データ交換概要	p1
3. 対象情報	p1
4. データ交換実施の前提条件	p1
5. 受入時のデータ更新	p2
6. 研究活動情報ファイル	p2
6.1 ファイルについて	p2
6.2 ファイル仕様	p3
6.3 データチェック仕様	p4
6.4 日英連動項目	p5
6.5 各項目における公開・非公開フラグ	p6

別紙 1: 研究活動情報ファイル一覧

別紙 2: チェックパターンファイル設計書

別紙 3: コード表

## 1. 目的

本仕様書は、研究開発支援総合ディレクトリ(以下、ReaD と呼ぶ)において実施している JST と研究機関との間の ReaD データのやり取り(以下、データ交換と呼ぶ)において使用する研究活動情報のデータ定義を定めるものである。

## 2. データ交換概要

データ交換とは、ReaD と各研究機関で構築している研究活動情報に関するシステムとの間の「ReaD データのやり取り」である。以下に模式図を示す。

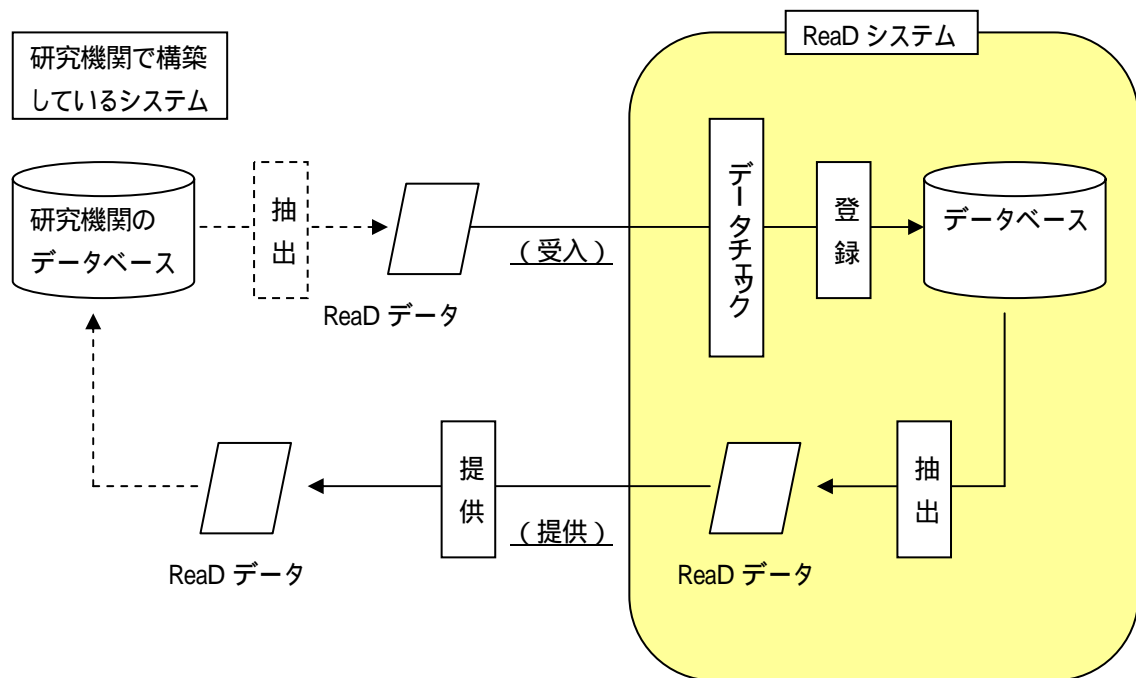


図 2-1 データ交換模式図

## 3. 対象情報

データ交換の対象となる情報は研究機関情報、研究者情報、研究課題情報、研究資源情報の4種類である。ただし、研究者情報については、データ交換実施機関に所属する研究者の情報、その他の情報については研究機関が保有あるいは実施している情報に限るものとする。

## 4. データ交換実施の前提条件

データ交換の実施にあたり、以下の条件を成立させておくことが必要である。

1) データ交換実施機関に対して機関コードが採番されていること。

- ・機関コードは機関からの要請にしたがって、JST にて追加、変更等を管理する。
- ・コード体系は合計 10 桁で構成し、以下のように階層化して割り当てる。

機関コード(10 桁) = 大学等機関(4 桁) + 学部・部等(3 桁) + 学科・課等(3 桁)

2) 個々のデータ交換対象情報について、各コードが採番されていること。



### 3)ファイル構成について

- ・XML ファイル、CSV、TSV ファイルのいずれの場合について、差分データのみで構成されるファイルを使用して差分更新を行うことはできない。
- ・XML ファイルにおいては特定の研究活動情報に関する項目がすべて一つのファイルに記述されるため、子ファイルは存在しない。
- ・CSV ファイル、TSV ファイルにおいては、研究活動情報の項目ごとにファイルが分かれている。データ登録に際しては、**データの有無にかかわらず全てのファイルを作成しなければならない。**

## 6.2 ファイル仕様

以下に研究活動情報ファイルの仕様を説明する。

### 1)使用文字コード

データ交換において使用する文字コードは **UTF-8** とする。

### 2)要素名とフィールド名

XML ファイルの最下層の要素名と CSV、TSV ファイルのフィールド名は一致する。

### 3)XML ファイルについて

- ・データを設定しない項目については、空要素タグの設定をしてもしなくても良い。
- ・データ中に次の文字「&」、「'」、「<」、「>」を使用する場合はそれぞれ次の文字参照を使用すること。  
「&amp;」、「&quot;」、「&lt;」、「&gt;」  
文字参照を使用せずにそのまま記述されている場合はエラーとなる。
- ・上記 4 パターン以外の文字参照は使用しないこと。使用した場合はエラーとなる。
- ・制御コードを含めないこと。
- ・データ部の改行コードは変換不要でそのまま設定する。改行が設定できない項目は別紙 2: チェックパターンファイル設計書を参照のこと。
- ・ルート要素は「row」とする。

### 4)CSV、TSV ファイルについて

- ・項目間のデリミタは、CSV ファイルの場合は「,(半角カンマ)」, TSV ファイルの場合は「タブ」とする。
- ・データ部は「"」(ダブルコーテーション)」で囲むこと。
- ・空データの場合もデータ部は「"」(ダブルコーテーション)」で囲むこと。
- ・データ部に「"」(ダブルコーテーション)」を設定する場合は、「""」のように二重化すること。
- ・ファイルの一行目はフィールド名を記述すること。
- ・データ部の「改行コード」は「&#0d0a;」(半角小文字)に置き換えること。改行が設定できない項目は別紙 2: チェックパターンファイル設計書を参照のこと。
- ・文字参照は、「&amp;」、「&quot;」、「&lt;」、「&gt;」のみ使用可能。4パターン以外の文字参照は使用しないこと(使用した場合は、そのまま「&auml;」のように表示される。)
- ・制御コードを含めないこと。

### 5)byte 数

ファイル項目で定義しているデータサイズは byte 数であり、文字数ではない。

## 6)属性とフラグ

XML ファイルの属性(attribute)には以下のものが存在する。

- ・language 属性            研究活動情報が日本語データか英語データかを指定する (JP:日本語、EN:英語)。
- ・public 属性                指定した項目の公開可否を指定する (true:公開、false:非公開)。  
この属性は研究者情報と課題情報に存在する。

CSV、TSV ファイルにおいては、上記の属性はそれぞれ「言語区分」、「非公開フラグ」という項目で管理する。

## 7)必須条件

必須条件として、以下の二種類の要素が存在する。

- ・必須項目                 研究活動情報ファイル中に必ずデータが存在しなければならない項目。この項目が存在しないファイルはデータチェック時にエラーとなる。  
*例) 研究者情報における「研究者コード」、「所属機関コード」等。*
- ・条件付必須項目        必須項目以外の項目を登録する場合に、その項目を構成する下位項目のうち必ず存在しなければならない項目。  
*例) 研究者情報の『研究者業績(論文・解説)』における「論文名」等。  
『研究者業績(論文・解説)』にデータが1件も存在しない場合でもエラーにはならないが、データが存在する場合は必ず「論文名」が必要となる。*

## 8)データ型

データ型は以下のものが存在する。

表 6-2-1 データ型一覧

名称	説明
半角数字	0~9
半角英字	a~z、および A~Z
半角英数字	0~9、a~z、および A~Z
半角英数字記号	基本ラテンとラテン補助(U+0020-U+00ff)
全半角	表 6-2-2 を参照

表 6-2-2 全半角で使用可能な文字範囲(UTF-8)

バイト数	範囲			
	1バイト目	2バイト目	3バイト目	4バイト目
1バイト文字	09,0a,0d,02-7f			
2バイト文字	c0-df	80-bf		
3バイト文字	e0-ef	80-bf	80-bf	
4バイト文字	f0-f7	80-bf	80-bf	80-bf

但し efbfbc, efbfbf を除く。

## 9)ファイル項目一覧

別紙 2:チェックパターンファイル設計書を参照のこと。

### 6.3 データチェック仕様

データ登録を行う前に以下のデータチェックを行う。

#### 1)ファイルチェック

ファイル名が規則どおり付与されているか。必要なファイルが全てそろっているか否か確認する。

#### 2)単項目チェック

ファイルの各項目(要素)について以下のチェックを行う。

必須チェック	必須項目にデータが存在しているか否かのチェックを行う。
byte 数チェック	byte 数のチェックを行う。固定長、可変長の二種類存在する。
データ型チェック 1	データ型が正しいか否かチェックを行う。
データ型チェック 2	上記のデータ型チェックに加えて、日付、メールアドレス、URL については各々、日付、メールアドレス、URL の形式チェックを行う。
コード存在チェック	コード類において、指定されたコード値の DB との整合性チェックを行う。

#### 3)項目間チェック

データ項目間の依存関係のチェックを行う。

#### 4)チェックパターン一覧

各項目に対して行われるチェックの内容は別紙 2:チェックパターンファイル設計書を参照のこと。

### 6.4 日英連動項目

下記の項目は日本語サイトと英語サイトの連動項目になる。

日・英両方のデータを受入した場合は、日本語サイトの値が優先して登録される。

#### < 機関研究活動情報 >

研究分野コード

#### < 研究者研究活動情報 >

文部科学省科学研究費研究者番号

研究分野コード

ホームページURL

海外での国際会議，学会への出席回数及び発表回数

公開非公開

- ・ 一般公開の可否
- ・ 生年月日
- ・ 住所
- ・ 電話番号
- ・ F A X 番号
- ・ メールアドレス(公開用)

- ・ 出身大学院
- ・ 出身大学院
- ・ 研究職歴

< 課題研究活動情報 >

- 研究機関
- 研究分野コード
- 研究予算
- 公開非公開
- ・ 研究予算

< 資源研究活動情報 >

- 研究分野コード

## 6.5 各項目における公開・非公開フラグについて

下記の項目は公開が原則であり、項目毎の公開・非公開フラグは公開に設定することとする。

< 研究者研究活動情報 >

- 所属部署 【必須】
- 職名 【必須】
- 研究分野 【必須】
- 研究分野キーワード 【必須】
- 研究テーマ 【必須】
- ホームページURL
- 研究業績（論文・解説）
- 研究業績（著書）
- 研究業績（口頭・ポスター）
- 研究業績（特許）
- 研究業績（その他の活動）
- 取得学位
- 委員歴・役員歴
- 受賞学術賞
- 所属学会

< 課題研究活動情報 >

- 一般公開の可否
- プロジェクト名
- プロジェクト代表機関名
- 研究代表者名
- 概要
- キーワード
- 研究期間（研究開始年度、研究終了年度）
- 研究成果